

地区ローターアクト

代表 **森本 秀樹**  
(大阪南RAC)

11月16日(日)に第2640・2660地区(ローターアクト)交流会が開催されました。

両地区は1982年までは同じ地区だったことからこの交流会は同年に地区が分かれて以降、交互にホストを担当しながら続けられてきたローターアクトの地区行事となっております。

今年度は、第2640地区のローターアクトがホストとなり「だんじりの町、きしわだを歩く」をテーマとし、岸和田市にて開催されました。秋めいた岸和田の城下町をボランティアガイドの方々の案内のもと散策することで第2640地区の城下町の歴史・文化や特徴の一端に触れることができました。主に、きしわだ自然資料館、岸和田だんじり会館、岸和田城天守閣の3つのポイントを観て回りましたが、両地区の親睦を深めるため、地区混合のグループが生まれ、ウォークラリーを行う中で参加者は真剣に説明に耳を傾けておりました。

岸和田と言えば、だんじりをイメージされる方が多いと思いますが、実際のだんじりをみたことがない方もいらっしゃるかと思います。だんじり会館では、だんじりの熱気そしてその力強さを実物のだん

じりと大型スクリーンで体感することができます。また、その華やかさ、細部にまでわたる巧みな彫刻などを観ることができ、まただんじりにかける人達の熱き思いを感じることができました。江戸期に作られただんじりの彫物には意外にも「三国志」や「源平合戦」の絵などが彫られているものがありました。展示されているだんじりの中には文化・文政年間に作られたと推定される岸和田最古のものもあり、歴史を感じることもできます。また、祭のしくみを知ることでもありますので是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。

参加したローターアクターは、第2640地区の歴史に触れ、地区を超えての交流を深めることができました。もともとは同じ地区ということもあり、初めて交流会に参加したアクターもすぐに第2640地区のアクターと仲良くなり、お互いの地区・クラブのローターアクト話に花を咲かせていました。

次年度は私達第2660地区がホストをしますが、この交流会を今後も絆を強化する機会と位置付け、より実りある地区交流会になるように積極的に取り組んでまいります。

